

四日市コンビナート先進化会議(2020)

部会名:規制合理化関連部会(規制スマート化)

Rev.0

2020/3/11

テーマ名:

新方式活用スマート化

参加会社:四日市コンビナート各社

テマリーダー: JSR橋本

△:開始 ◎完了

テマリーダー	部会長
橋本	橋本

目標(GOAL): 各社の成果を共有化してスマート化を進捗させる。

グループリーダー:

No	名	概内容	リーダー/担当会社	目標	2020 スケジュール												備考
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	ドローン等新技术等の活用	①消防本部及びドローン活用したい企業にて、ドローンを各事業所で飛行させて活用方法を見出す。 ②新しい消防機材(消火ロボット等)の活用を検討し、安全に運転できるようにする。 ③IoTやAIの活用 ④新しいテーマ創出	JSR	①ガイドライン(国、消防本部)を活用し、危険物施設上空でドローンを飛行させ、画像撮影を実施する。 ★4月中に 1)会社名2)飛ばしたいエリア(危険物エリア)3)公開or非公開を部会長まで連絡ください。消防と計画を立案する。 ②消火ロボット等の技術検討を行う。 ③IoTやAI活用事例など各社の事例を交互に紹介発表する。	△ 募集 △ 情報収集 △ 計画立案後、実施 ◎ 年まとめ △ 計画立案 △ 検討 ◎ 継続												
2	ICT化推進による仕事のスマート化(働き方改革)	①官庁申請書類の電子ファイル化と電子申請の検討	JSR	①消防本部:申請費用の伴わない届け出(PDF)についてE-Mailでの申請を目指す ②高圧ガス:簡単な届け出(PDF)についてE-Mailでの申請を目指す ③労働安全衛生法:まず、連絡事項でのやり取りのE-Mail化を目指す	△ 意見集約 ◎ 年まとめ △ 意見集約 ◎ 年まとめ												
3	非防爆電子携帯機器の危険物エリアでの活用	①非防爆タブレット、スマホ活用 ②スマートグラスの活用 ③その他非防爆電子機器の活用	上記1,2,3について以下各社にて具体的計画														
4	非防爆電子機器の更なる活用とドローン導入	上記1,3について検討していく。	JSR	①タブレットの更なる活用推進(音声認識ソフトやウェアラブル機器への展開) ②スマートグラスの活用(アイトラッキング、RealWear社防爆型スマートグラス、ローカル5Gvs防爆Wifiとの比較等)検討開始 ③ドローンパイロット養成(3名)とドローン機材確保進捗	△ 使用中 △ メーカー選定 ◎ 親ソフト検討開始 ○ 購入 ◎ 効果まとめ ◎ 年まとめ												
6	非防爆型タブレット導入	非防爆型タブレットの事業所内運用を計画。運用規程・基準を整備し、運転データの蓄積・解析、技術伝承等に活用する。 [タブレットの活用例(案)] ・データ蓄積・解析による早期異常検知 ・映像通信(作業監視・指示)等	東ソー株式会社	①モデルプラント選定 通信環境の整備 ②エリア限定の運用テスト ※非危険物エリア ③運用規程・基準の整備 ④エリア限定の運用開始 ⑤危険物エリアの運用検討 ※消防相談													
7	非防爆ウェアラブルカメラ等の導入	防爆エリアにおいて、非防爆型の可搬式情報端末を用いることにより、制御室等との情報共有化による生産性向上を図りたい。	JERA	①危険物エリア上空でのドローンの飛行 ・構内危険物エリアでのドローン飛行に関するルールの作成 ②構内防爆エリア内での非防爆携帯型機器の使用に関するルール化および試行運用 ・非防爆型端末を試行運用とする防爆エリアの選定(燃料設備) ・マニュアルの作成 ・防爆エリア内での非防爆携帯型機器使用の試行運用開始	①危険物エリア上空でのドローンの飛行ルール化 ②非防爆機器の防爆エリア内での使用ルール化 試行運用												
9	非防爆電子携帯機器の危険物エリアでの活用	①音声支援システム導入検討(継続) ②ウェアラブルカメラの導入検討 ③その他スマート化テーマ抽出	三菱マテリアル	①モデル現場へのテスト導入・評価及び横展開検討 ②同上 ③新テーマ抽出	現時点で詳細計画は未定												
10	非防爆機器の導入とドローン飛行検証	①肉厚測定器とタブレットが一体しており、現場での肉厚管理を効率的に行う。 ②危険物エリアでのドローン飛行	KHネオケム	①A-MS連携タブレットの導入 ②ドローン飛行検証	日程調整 ◎ 購入 ◎ 導入												

必要あれば追加してください。